

# 2021年度 日立みらいイノベータープログラム 戸田市立美谷本小学校 出張授業レポート

## 【内容】

実施校	戸田市立美谷本小学校
クラス詳細	2クラス 56人
出張授業実施日	1回目) 9月08日 2回目) 10月20日 3回目) 11月17日 4回目) 12月13日
企業講師所属	株式会社日立製作所 / 株式会社日立ハイテク
実施方法	オンライン (ZOOM)

## 【本プログラムに参加した講師・先生の声】

### 企業講師の声

- 子どもたちの成長を実感できるやりがいのあるプログラムだと思います。成長するというこの価値を感じることは、日々の業務にも生かされると思います。
- 子どもたちも一生懸命吸収しようとしてくれるので、講師としてもとてもやりがいのあるプログラムです。
- オンラインならではの難しさもありましたが、自分自身をよく知る機会にもなりました。

### 小学校の先生方の声

- 子供たちの可能性が広がるプログラムです。1学期からやりたいと思いました。また、PBLの基本が学べます。低学年のうちからこうしたプログラムを段階的に取り組めたら、よかったですと思いました。
- プログラムを進めていくうちに、自分たちで問題を見つけ、解決策を考える子供が増えました。

## 【出張授業 1～4回目レポート】

### 出張授業1回目(動機づけ)

#### ■ 当日の様子

課題解決のプロとして日立財団の理事長がオンラインで社会イノベーションの事例を紹介し身近な家電の解決事例に共感していました。  
食器が「しずむ」「しずまない」の実験では、密にならないように、各自で仮説をたて、先生が食器を入れると拍手で喜ぶ姿があり楽しそうに実験に参加していました。



### 出張授業2回目(課題設定)

#### ■ 当日の様子

当日は、3つの教室にそれぞれiPadを設置。児童たちも3つの教室に分かれて、チームごと講師からアドバイスをもらいました。はじめのうちは、画面越しの講師に、緊張しているようでしたが、講師の質問に答えるうちに慣れていきました。講師からのアドバイスを一生懸命メモする様子が印象的でした。



# 【出張授業 1～4回目レポート】

## 出張授業 3 回目(中間発表)

### あるチームの発表例

理想の学校	環境にやさしい学校
課題	・給食の食べ残しが多い（食品ロス） ・世界中でも食べ残しが課題となっていて、美谷本学校でも取り組むべきと考えた
解決策	・食べ残しの少ないメニューを考える（特に魚） ・「食べ残しなしで賞」などの表彰や褒める活動を取り入れる
講師からのアドバイス	・全国の食品ロスのポスター事例を調べるなど、情報収集が素晴らしい！ ・なぜ魚が苦手なのかを調べたか？原因がわかれば、対策が打てるので、アンケート調査で、みんなが魚が苦手な理由を調べてみよう！

### 【当日の様子】

出張授業2回目に講師からアドバイスを受けて、今回の中間発表に臨んだ児童たちは、チームごとに堂々と発表してくれました。中間発表会では、チームの課題が、「汚い場所を、掃除できれいに」という課題に集中してしまい、講師からは、別のチームと互いに協力しあいながら、進めてはどうだろうと、アドバイスがありました。また、きれいにしたい場所に合った掃除方法を調査し、何が一番効果的か、実験をすべきだというアドバイスもありました。



## 出張授業 4 回目(最終発表)

### あるチームの発表例

前回からの改善点	・講師のアドバイスにあった、なぜ魚が苦手なのか？をアンケートで調査。 → 「骨が苦手」と答えた人が、55%と半数以上。 ・魚とわからないようなレシピを考え調理師さんへ提案。 ・魚が「体にいい」というポスター作りを行う。 ・ポスターだけでは見てもらえないと考え、食べ残しをしないように声掛けを行った。 食べ残しが減り、環境にやさしい学校を目指していきたい。
講評	学校給食の食べ残しと、世界でも問題になっている食品ロスを共に解決するために世の中の動向を調査し効果的な方法を考えているところが素晴らしい。

### 【当日の様子】

児童たちは、実験結果をグラフで示したり、課題解決に必要な情報として、アンケートを収集したり、アイデアをわかりやすく、まとめて発表してくれました。発表資料もアニメーションを使ったり、色を分けたり、画像を使ったり、見る人にわかりやすい工夫を凝らした資料で、中間発表から児童たちの成長を感じました。講師の皆さんからも、画面を通して3回の授業でしたが、「とても実りのある最終発表を見ることができました」と、最後にコメントをいただきました。

